

(様式第 1 号)

令和 7 年 3 月 31 日

屋久島町商工会経営発達支援事業評価委員会 御中

屋久島町商工会
会長 松本 和則

令和 6 年度経営発達支援事業自己評価報告書

経営発達支援事業の実績状況及び自己評価を次のとおり報告します。

【 屋久島町商工会 】

【経営発達支援事業の目標】

【1】屋久島の魅力と支援事業の情報発信

行政や屋久島町観光物産協会、J Aなどの関係団体と連携し、地域内外に対して屋久島の魅力を発信し、移住や観光客の増加を図る。これにより小規模事業者が保有する「強み」を活かした事業展開を支援し、安定経営できる基盤づくりと持続的発展を支援する。また、熊毛管内の事業者に対しては、種子島1市2町の商工会に対しても屋久島町商工会が実施する経営発達支援計画を「見える化」するための情報発信を実施し連携を図る。

【2】観光産業活性化のための特産品の開発・販路拡大（継続）

地域資源を発掘して都市圏に販路を拡大し、域内で資金が循環する仕組みを構築する。屋久島町観光物産協会との連携を深め、これまでそれぞれの団体で個別に支援していた特産品の開発や販路拡大事業を一元化することにより、効果的な小規模事業者の特産品開発・販路拡大支援を行なう。

【3】創業支援強化による商工業の活性化（継続）

事業所数減少対策のために、創業、起業を目指す方、開業して間もない方を対象に相談機能を充実させるとともに、屋久島町及び関係機関と共同で実施してきた創業塾を継続実施することで、ビジネスプラン（事業計画書）の作成、マーケティング手法や資金調達ノウハウ、財務管理や労務管理などについて専門家と連携して支援を行なう。また、創業後もビジネスモデルを確実に実行できるように創業者に寄り添った伴走型支援を実施する。

【4】観光産業活性化のためのインバウンド対策強化（新規）

近年の急増する外国人旅行者に対応するため、ハード・ソフト面の強化を図り、屋久島観光のイメージ向上を図ります。熊毛支庁屋久島事務所が行う「奄美・屋久島観光共創事業」等と積極的に連携を行い外国語対応の観光ガイド育成事業など、世界自然遺産を活かした観光振興に行政と連携して取組み、小規模事業者の販路拡大支援を強化する。

【5】経営発達支援計画の目標を達成するための支援体制の強化（改善・継続）

職員の経営支援能力の向上を図るために、各種研修会や職員間や関係機関と情報交換会を実施することにより、小規模事業者に対する支援の現状（成果、課題、進捗）や支援ノウハウの情報共有や支援スキル及び資質の向上を図るとともに、人事異動や退職などの際にも組織の財産として支援ノウハウやスキルをデータとして蓄積していく。また、経営発達支援計画の目標及び達成を実現するために、国、鹿児島県、屋久島町、鹿児島県中小企業団体中央会、かごしま産業支援センター（よろず支援拠点）、鹿児島県事業引継ぎ支援センター、中小企業診断士をはじめとした各種専門家、(株)日本政策金融公庫、熊毛地区広域指導協議会等と連携し、管内の小規模事業者のための支援機関としての機能を強化していく。

令和6年度経営発達支援事業「事業報告」

本会は、令和5年3月に経済産業省より経営発達支援計画の採択を受け、小規模事業者経営分析、計画作成・実施支援、販路開拓支援など小規模事業者に寄り添った伴走型支援に令和5年4月から令和8年3月までの3年計画で取り組んでいます。

本年度のこの計画に基づき小規模事業者支援の目標・実施内容・評価についてご報告致します。

- ※評価基準
- A：目標を達成することができた（100%以上）
 - B：目標を概ね達成することができた（80%～99%）
 - C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
 - D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）
 - E：未実施

I 経営発達支援計画

1. 地域の経済動向調査に関すること 評価 **C**

各種調査を活用した地域の経済動向に関する情報の収集・整理・分析・提供

（実施目標・実績）

地域の経済動向や業界動向を調査・分析し、小規模事業者が置かれている外部環境等を小規模事業者及び創業予定者等に対して広く情報提供し、経営計画策定の参考とする。

実施内容	目 標	実 績
① 各種統計公表回数	4 回	0 回
② 経営実態分析回数	4 回	1 回

2. 経営状況の分析に関すること

評価 **B**

巡回・窓口相談、各種セミナー等の開催を通じた地域内小規模事業者の実態把握

(実施目標・実績)

巡回訪問、セミナー開催、個別相談会等の実施により、自社の強みを活かした商品・サービス等の開発や販路開拓を図る事業計画策定に繋げるための経営分析を支援する。

実施内容	目 標	実 績
巡回訪問・指導件数	1,800 件	1,776 件
経営分析件数	35 件	18 件
課題解決セミナー開催数	3 回	3 回
〃 参加者数	30 名	3 名
事業承継分析者数	9 社	6 社

3. 事業計画策定支援に関すること

評価 **B**

経済動向調査・経営分析等の結果を踏まえ、効果的な事業計画を策定するための支援・助言(セミナー開催)

(実施目標・実績)

- (1) セミナー等の開催による事業計画策定を目指す小規模事業者の発掘とその他支援機関等との連携による事業計画の策定支援を行う。
- (2) 創業者支援については、専門家を活用した「創業塾」を開催し、創業予定者の発掘から事業計画策定のための支援を行う。

実施件数内容	目 標	実 績
① 事業計画策定事業者件数	35 件	10 件
② 経営課題解決セミナー (回数)	3 回	3 回
〃 (参加者数)	30 名	3 名

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

評価 B

事業計画に従って行われる事業の実施に関し、必要な伴走型の指導・助言を行う。

(実施目標・実績)

事業計画を策定した小規模事業者等（創業者・第二創業者含む）の課題・問題点等に対し、その他支援機関と連携した伴走型の指導・助言を行い、需要を見据えた、持続的発展に向けた事業計画の実施支援を行う。

実施内容	目 標	実 績
フォローアップ対象件数	35 件	18 件
フォローアップ延べ回数	140 回	56 回
売上増加事業者件数	7 社	7 社
粗利増加事業者件数	7 社	7 社

5. 需要動向調査に関すること

評価 B

小規模事業者の販売する商品、提供する役務の需要動向に関する情報の収集、整理、分析及び提供

(実施目標・実績)

多様化する消費者ニーズに対応できるよう、需要動向の調査・分析を行い、小規模事業者等に対して、市場性や成長性、事業の実現性を見極めた経営計画策定や商品開発等に繋がる各種支援を行う。

実施内容	目 標	実 績
需要動向調査支援対象事業者数	10 社	15 社
消費者アンケート調査回収数	300 名	0 名

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

評価 B

商談会、物産展、展示会等の開催または参加

(実施目標・実績)

小規模事業者の開発した新商品や新たなサービスの販路開拓と顧客拡大に向け、物産展や商談会等の開催、または参加を行う。また、小規模事業者の提供する商品・サービスについて消費者アンケート調査を実施し商品のブラッシュアップや新商品開発の支援に活用する。

商談会 1 回

- ① Food Style Kyusyu2024（11/13-11/14）マリンメッセ福岡
出展事業者 2 社 商談数（対応数：名刺交換含む） 53 社
事後フォロー、1 者に関しては井筒屋との取引が決定

物産展 5 回

- ① かが市「屋久島フェア」(9/15-9/16) 鹿児島市：天文館「かが市」
出展事業者 3 社 販売額 259,000 円
- ② 商工会こだわりの逸品フェア（10/25-10/27）鹿児島市：中央駅前アミュ前広場
出展事業者 3 社 販売額 582,900 円
- ③ 「離島の魅力発見フェア」（株）南日本銀行 主催（11/23・祝）福岡市：博多駅マイング広場
出展事業者 7 社 販売額 437,866 円 21 日（木）、22 日（金）が、長島・甕島
- ④ 「こだわりの逸品フェア」 in 東京シティアイ（12/12-12/13）東京：東京駅
出展事業者 3 社 販売額 423,300 円

物産展等実施回数	4 回	4 回
物産展等出展事業者件数 (参加延べ件数)	4 社	9 社
物産展 1 社あたり売上目標 (1 日 1 社あたり)	10 万円	9.3 万円
商談会開催数	6 回	1 回
商談会参加事業者数	6 社	2 社
1 社あたりの成約件数目標	3 件	1 件
インバウンド専門家派遣回数	5 回	0 回
〃 派遣事業者数	30 社	0 回
IT 活用セミナー実施回数	3 回	3 回
〃 参加事業者数	30 社	10 社

II 地域経済の活性化に資する取組み

1. 地域経済の活性化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 評価 **A**
- 行政、熊毛地区各商工会、観光協会と連携し、今後の地域経済の活性化のための方向性、具体策を検討する。
さらに、地域特有の資源を活用した特産品・ご当地メニュー等の開発、イベント事業に取り組み、島外に屋久島町の話題発信とPRを行い、観光関連産業を中心とした消費拡大等に繋げ地域経済の活性化を図る。

III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること・・・・・・・・・・・・ 評価 **A**
- 他の支援機関、専門家等と連携し、地域の小規模事業者や需要の動向、支援のノウハウ等に関して情報交換をし、新たな需要の開拓を進める基盤の構築をはかる。

(開催参加実績)

鹿児島県よろず支援拠点やその他支援機関等との会議、研修会に参加し、小規模事業者支援の現状や支援ノウハウ、新しい施策等について情報交換を行い、小規模事業者等の経営支援に役立てる。

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 評価 **A**

記帳指導、税務指導といった従来の経営指導に必要な能力向上に加え、小規模事業者の利益確保に資する支援ノウハウの習得。

(開催参加実績)

鹿児島県商工会連合会や中小企業基盤整備機構等が主催する研修会に全経営指導員等が積極的に参加し資質向上を図る。

また、経営指導員と経営支援員による自主研修会を実施し情報共有（収集）と支援能力の向上を図る。

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

評価	C
----	---

毎年度、本計画に記載する事業の内容について職員間で事前に協議し、また実績状況についても評価・検証を行う。